

# 戦後沖繩近代建築の特色と 建築文化の継承

CPD2単位申請中！

1958

1970

1975

1981

1985

戦後沖繩近代建築は、特色ある沖繩の歴史と風土の中で独自の地域主義建築を展開してきました。取り分け、本土復帰前の建築には当時の地元建築家達の地域性に対する篤い想いが込められているものが多くありました。しかしながら、戦後70年、本土復帰43年を迎える本年、これらの多くは既に失われ、また、僅かに残る当時の建築も消え去ろうとしています。そこで、建築文化に対する関心を地元社会に広く醸成し、歴史の重層性が形成する豊かな建築文化を未来に渡す為のシンポジウムを開催します。

日時： 2015年11月7日(土)

開場 14:00 開演 14:30 終了 16:30

会場： 那覇市民会館 中ホール

入場料： 無料

主催： (一社)日本建築学会 九州支部 沖繩支所

後援： (一社)沖繩県建築士会、(一社)沖繩県建築事務所協会  
(一社)日本建築家協会沖繩支部、(株)沖繩タイムス社  
(株)琉球新報社、(株)タイムス住宅新聞社

## プログラム

14:30 主旨説明 小倉暢之(琉球大学 教授)

### 第一部 個別テーマ発表

14:35 「戦後沖繩近代建築の意義 — 那覇市民会館を事例に」  
前田 慎(アアキ前田 株式会社 代表取締役)

15:10 「世界における建築物再生の可能性と連続する時間軸について」  
入江 徹(琉球大学 准教授)

15:45 ~ 15:55 休憩

### 第二部 パネルディスカッション

15:55 「建築文化の重層性と継承について」

モデレーター 小倉暢之(琉球大学 教授)

パネラー 金城 優(有限会社 門 代表)

前田 慎(アアキ前田 株式会社 代表取締役)

入江 徹(琉球大学 准教授)

16:30 閉会